

▲▲入道跡注文事

▲▲太郎 二町八段

▲

▲ 宇那祢田八段

▲▲三分一疋

▲房 一町

例進一疋

彦三郎 一丁

同一疋

源太 七反

一疋

権守 五反

一疋

又四郎宮 六反

一疋

五郎三郎入道 三反御公事足かん田三段

一疋 以上六反

五郎太郎入道 七反

一疋

二田六人

てつくり 一町

にとう二郎 四反 四百文宛

かんた

八郎 三反 三反 一反さわしろ

メ五郎入道 二反

五郎太郎 七反 さきの田

うきめん

きとう六入道 二反

き平太郎 二反

(預?)

先度頂御状候之条恐悦存候之處

又加様承り悦入候如仰軍勢入

事なんと候者可蒙仰候去年愚孫

彦五郎冠者令参京都候之間若黨

等相付之候畢雖然承候二者かへ■「くの字点」し可?

(預?)

??も少々可令??候又小鳥二頂候処

(含?)

食寄候御志之至悦存候勞身にて

候之間行歩不合期候程二眼前ニこれ

を?にて自愛備候間勞もなおり候

と存候恐々頓首

二月廿六日 沙弥道覺

謹上 南部殿

御返事

三

■ うなねた 三反 同作人

一 ーいにしか 大夫二郎一丁一反

例進一疋

一 公田同所——弥平二郎 三反 四百文宛

■

一 とまへち 七郎二郎 八反

一 疋

■ (き?) (大?)

一 とまへち さとう四郎 六反た

一 疋

■

一 ねきいにしか 大田二郎 一丁

かんれう五百文

一 阿弥陀堂别当晴意房 六反

かんれう羽一しり

不作

うきめん

一 とまへち 本作者 一丁主 小四郎

一 疋

不作

うきめん

一 とまへち 本作者 弥平二郎 一町一反

??

■ うきめん

一 公田 きち六 五反 四百文宛

■ 井れう 一反 同作者

一 散田 とまへち 三反 四百文宛